

Ver _____

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく
温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト申請書別紙
モニタリングプラン

～森林管理プロジェクト用～

プロジェクト名	徳島県那賀郡那賀町における森林吸収源事業
プロジェクト代表事業者名	株式会社フォレストバンク

提出日 2009年5月15日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	森林経営活動(間伐)の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	別紙図面に立地する杉林分	CO2	
地下部バイオマス	森林経営活動(間伐)の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。	別紙図面に立地する杉林分	CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. 算定式（方法論項目5）

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する

$$\Delta\text{CAG} = \text{Area} \times \Delta\text{Trunk} \times \text{BEF} \times \text{WD} \times \text{CF} \times 44 / 12$$

$$\Delta\text{CAG} = 128.83 \times 10.5 \times 1.57 \times 0.314 \times 0.5 \times 44 / 12$$

$$\Delta\text{CAG} = 1223$$

$$\text{Area: } 128.8 \text{ ha}$$

$$\Delta\text{Trunk: } 10.5 \text{ m}^3/\text{ha}/\text{年}$$

$$\text{BEF: } 1.57$$

$$\text{WD: } 0.314 \text{ t/m}^3$$

$$\text{CF: } 0.5$$

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する

$$\Delta\text{CBG} = \Delta\text{CAG} \times \text{R}$$

$$\Delta\text{CBG} = 1223 \times 0.25$$

$$\Delta\text{CBG} = 306$$

$$\text{R: } 0.25$$

6-1. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入

$$\Delta\text{CFM} = \Delta\text{CAG} + \Delta\text{CBG}$$

$$\Delta\text{CFM} = 1223 + 306$$

$$\Delta\text{CFM} = 1528$$

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

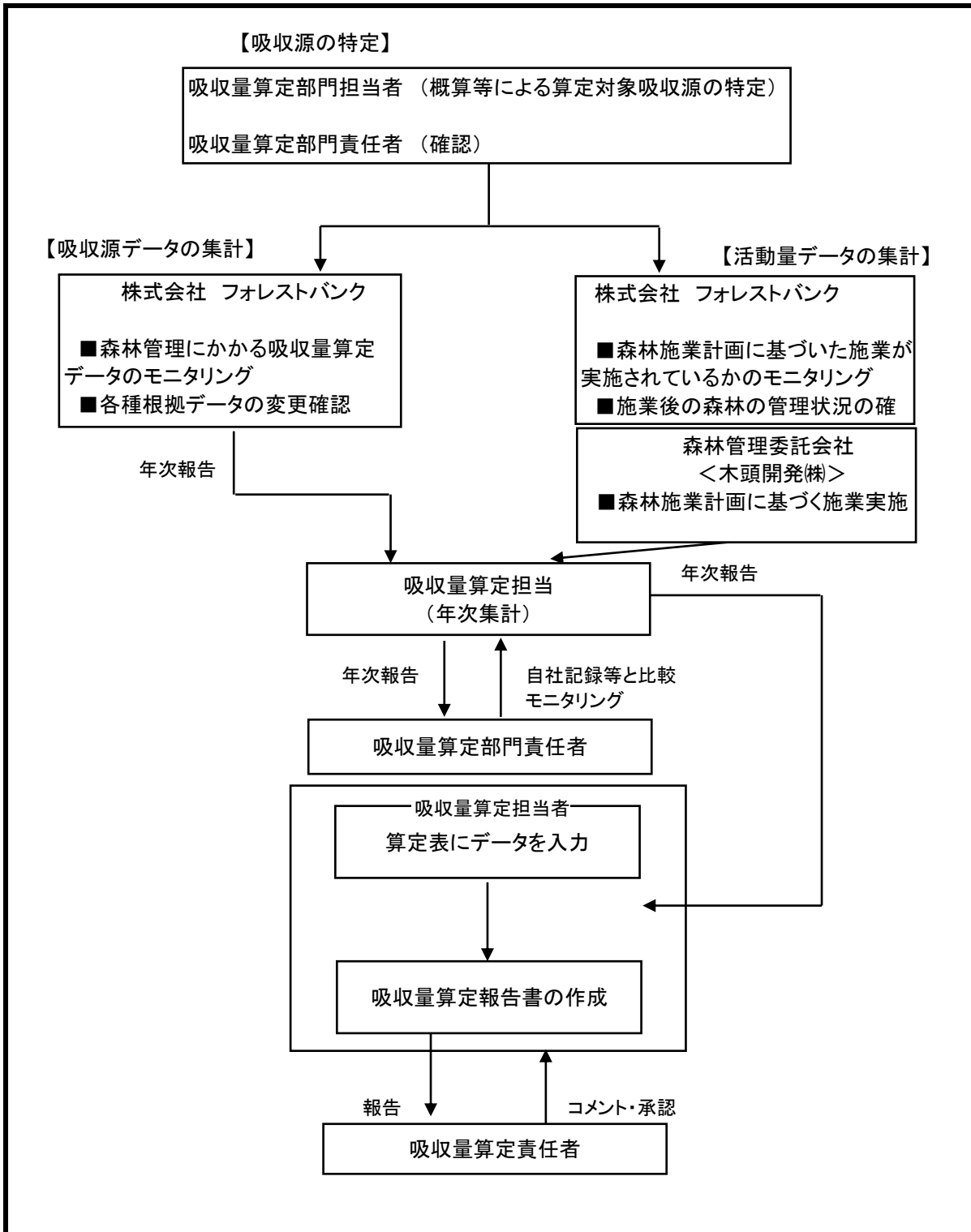
モニタリング内容	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となる活動量の説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーションを行ったかチェックする	キャリブレーション実施日	想定吸収量の算定に使用した値を記入	特筆すべき事項があれば記入
1	AreaForest	間伐面積	森林施業計画に基づく方法		年1回			128.83ha	治山事業 2007年52.5ha、2008年40.2ha 森林総合整備事業 2008年36.13ha
2	△Trunk	幹材積増加	四国森林管理局森林技術センター	森林管理局の実施したモデルの値を利用	年1回			10.5m ³ /ha	20年間で210m ³ /ha
タリングプラン									

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象とな るパラメー タの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をVI 備考欄に添付す ること 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング 方法ガイ ドライン を参照 し、測定 機器の キャリ ブレーション を行っ たか チェッ クする	キャリ ブレーション 実施日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	特筆すべき事項があれば 記入
3	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3及び 4の下でのLULUCF 活 動の補足情報に関する 報告書4」	「京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF 活動の補足情報に 関する報告書5」で示された森 林籜樹種の拡大係数、枝根	年1回			1.57	杉
4	WD	容積密度数	同上	同上	年1回			0.314	杉
5	R	枝根率	同上	同上	年1回			0.25	杉
タリングプラン									

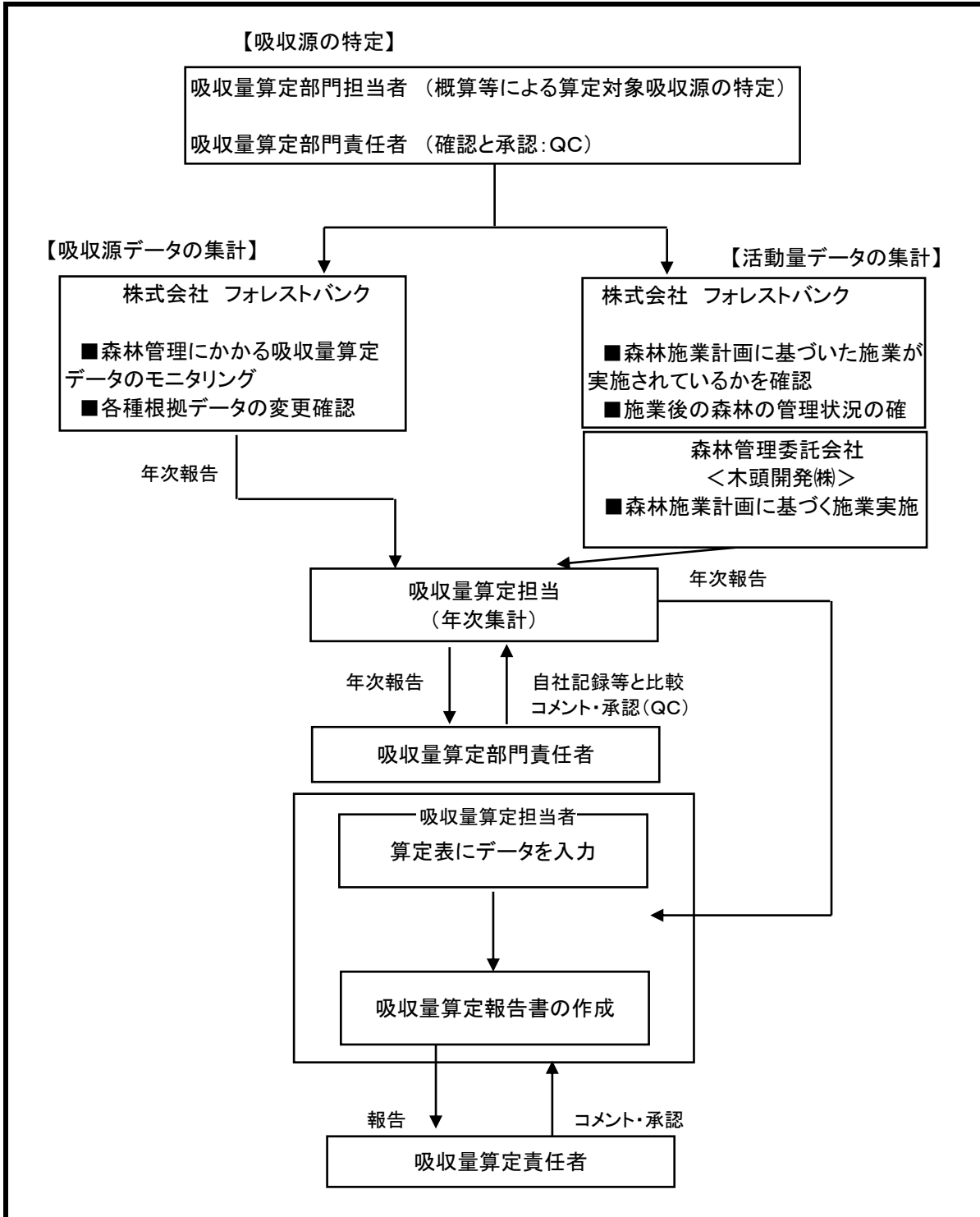
IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

吸収量の質を確保するため、森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。



VI. 備考

<関連書類>

- ・プロジェクト対象地が含まれている、市町村等に認定された森林施業計画の写し(施業対象の森林が特定される情報を含むもの)
- ・森林認証を受けている場合は、それを示す書類
- ・植林プロジェクトの場合は、植林後に森林法第5条の森林となることが証明できる書類

<森林の概要が分かる資料>

- ・プロジェクト対象の森林について、緯度・経度等の地理的情報を含んだ森林計画図(オルソ画像があれば添付)
- ・プロジェクト対象の森林の写真
 - ・小班ごとに森林の概要(立木密度、幹の形状、下草の状況など)が明確に分かる写真を添付すること
 - ・写真撮影は、モニタリング方法ガイドラインの「プロジェクト対象森林の写真撮影」を参考に行うこと
- ・プロジェクトの対象となる森林を管理している主体の組織図(会社案内等)
- ・プロジェクト申請書において、吸収・排出量の算定に用いたパラメータ等を引用した資料(文献)